

# アルビレオ ウィンドアンサンブル 第4回演奏会 ～保科洋の世界IV～



指揮 保科洋 Hiroshi Hoshina



フルート 大江 浩志



マリンバ 広谷 陽子

## 本邦初演!

祈りそして戯れ ～光のよとの～ (フルートと吹奏楽の為の) / 保科 洋  
*Oraison et jeux~sous un rai lumineux~ / Hiroshi Hoshina*  
フルート独奏 大江 浩志

## マリンバによる新たな世界!

組曲ハリー・ヤーノシュ (I. II. III. IV. V. VI) / Z.コダーイ / 編曲 保科 洋  
*Hary Janos - Suite / Zoltan Kodaly / Arr. Hiroshi Hoshina*  
マリンバ独奏 広谷 陽子

パストラレ (牧歌) (2017改訂版) / 保科 洋  
*Pastorale / Hiroshi Hoshina*

響宴Ⅰ・響宴Ⅱ (2018改訂版) / 保科 洋  
*Deux Paysages Sonores / Hiroshi Hoshina*

2019年 **2月11日** (月・祝日) 開場 / 13:30  
開演 / 14:00

伊丹アイフォニックホール

- 一般: ¥1,500
- 高校生以下: ¥1,000

未就学児の入場はご遠慮ください

主催 / アルビレオ ウィンドアンサンブル

後援 / 伊丹市・伊丹市吹奏楽連盟・兵庫県吹奏楽連盟

お問い合わせ / アルビレオ ウィンドアンサンブル事務局 Mail: takaotp@yahoo.co.jp



# ALBILEO WIND ENSEMBLE 4th CONCERT

## アルビレオ ウィンドアンサンブル

『アルビレオ』とは、白鳥座の連星(アルビレオ)にヒントを得て作曲された保科洋作品「アルビレオ」に由来しています。吹奏楽演奏において、保科洋氏の「エネルギー思考に基づく演奏解釈」の実現をめざし、平成25年4月に結成されました。小・中・高等学校・大学の教職員、一般アマチュア演奏家、プロ演奏者を含めた、コアメンバー30余名で活動しています。同年10月には、デビューコンサートとして『加東2013音楽の日』にゲスト出演し好評を博しました。2016年からは「アルビレオ ウィンドアンサンブル演奏会 in 東条」と題し、加東市の中学校吹奏楽部の皆さんと交流演奏会を行っています。2017年、2018年1月に開催された「保科洋指揮法クリニック」のモデルバンドとして出演しています。

## 指揮 保科 洋



1960年、東京芸術大学作曲科卒業。卒業作品にて第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)第1位を受賞。1963年、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、1982年、国立兵庫教育大学着任。2001年、同大学を退官。同大学名誉教授となる。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広く、特に吹奏楽では日本を代表する作曲家で、世界各地で作品が演奏されており、海外でも評価は高い。1991年には、日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を現存する作曲家では最初に受賞している。

また全日本吹奏楽コンクール課題曲は、カンティレーナ(1976年度)、風紋(1987年度)、アルビレオ(1998年度)、今年度の「インテルメッツォ」を含め過去4回委嘱されている。

2009年に、ホルン協奏曲「巫女の舞」がイタリアのホルチア国際ホルンコンクール本選課題曲に選出。世界各国のホルン奏者によって熱演された。邦人作曲家の作品が管楽器の国際コンクールの本選課題曲に選ばれたのはこれが初めて。

また2010年にヤマハ吹奏楽団により初演された「復興」は、吹奏楽コンクールでも多数の団体が演奏し、非常に人気の高い作品。指揮活動もシエナ・ウィンドオーケストラをはじめ幅広く行っているが、特にアマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を40年以上の長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団体で活躍している。

1998年に発表した、認知心理学とエネルギー思考をもとにした演奏解釈法をまとめた『生きた音楽表現へのアプローチ エネルギー思考に基づく演奏解釈法』(音楽の友社)一保科理論(絶版)は、類書のない理論的音楽解釈法として、アマチュア音楽愛好家はもちろん専門家の間でも評判となった。

このような長年にわたる教育・指導活動が評価され、平成27年度秋の叙勲において「瑞宝中級章」が授与され、平成28年度には兵庫県から「文化功労章」が授与された。

2017年4月、脳出血により一時、左半身麻痺になるが、努力と情熱で奇跡的な回復をみせている。

兵庫教育大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授、浜松アクト音楽院音楽監督、フィルハーモニックウインズ浜松音楽監督。

## 大江 浩志 / フルート



明石市出身。京都市立芸術大学音楽学部及びマンハイム音楽大学卒業、同時にドイツ国家演奏家試験に最高点で合格。帰国後は、数回にわたるリサイタルや室内楽演奏会等多数。また、邦人作品演奏会や新作初演も積極的に行なっている。テレマン室内管弦楽団、大阪シンフォニカー(現・大阪交響楽団)を経て、モーツァルト室内管弦楽団首席奏者。平成8年度《坂井時忠音楽賞》受賞。

現在、大阪音楽大学、相愛大学各講師。アンサンブル・ダンツィ大阪、アンサンブル135各メンバー。伊丹シティフィル、明石フィルトレーナー。神戸音楽家協会会員。一般社団法人日本フルート協会代議員。

## 広谷 陽子 / マリンバ



兵庫県立加古川東高等学校、兵庫教育大学芸術系音楽コース卒業。在学中保科洋氏に和声学及び編曲法を、故田原富子氏にピアノを学ぶ。中・高・大学時代吹奏楽に青春を捧げる。小中学校教諭を経て1990年より8年間桐朋学園大学附属音楽教室にソルフェージュ講師として勤務。これを機にマリンバを志す。

以後現在、世界的マリンバ奏者種谷睦子氏に師事。中之島中央公会堂にて朝の光のクラシック、大阪いずみホールにてミズノマリンバの世界等出演。グローバルウィメンズクラブ主催東日本大震災チャリティーコンサートにピアニスト横山幸雄氏らと出演。宝塚ベガホール、大阪倶楽部、パルナサスホール他コンサートに多数出演。また幼稚園、学校、地方公演にも力を注いでいる。レパートリーの編曲も手がける。

高砂音楽家協会副会長。